

財政学 A		准教授 小松原崇史	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目, 会計ファイナン スコースの専門選択科目, 経営・経済コースの専門選 択科目, 教職科目	科目ナンバリング	23222205 25320219

1. 授業のねらい・概要

主に日本の財政についての基礎的な内容を説明する。本科目の履修にあたっては、「経済学基礎」を履修済みであることが望ましい。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を行う。適宜プリントを配布し、学生の理解をはかる。理解度に応じて、以下の授業計画は、多少変更する可能性がある。

3. 授業計画

<ul style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 効率性が求められる幅広い行政サービス 3. 増加が著しい医療・介護の費用 4. マクロ経済スライドがポイントの年金 5. 少子高齢化と政府の歳出構造の関係 6. 予算の決まり方 7. 国債はどのように発行されているのか 8. 前半のまとめと復習 	<ul style="list-style-type: none"> 9. なぜ政府の財政は悪化したのか 10. 財政収支と債務残高の関係 11. 政府債務が増え続けるとどうなるのか 12. 最も身近な所得税 13. 社会保障の財源である消費税 14. 高齢化で増加する社会保険料 15. 後半のまとめと復習
--	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講後、その回の内容を復習する。そのためには、毎週2から3時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

解答を試験終了後に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

日本の財政についての基本的な知識を習得する。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

参考書として、川村・道盛・大和総研『明解 日本の財政入門』2016年、きんざい を使用する。

9. 受講上の留意事項

私語を厳禁とする。守れない学生に対しては、直接注意を行い、改善が見られない場合には退出を求める。